２０２１年度　足立区 保育研修報告　　VOL. ３

幼児教育研修（災害）　オンデマンド配信による研修動画視聴

受講者数　１５９名　動画再生回数　２３２回

配信期間　令和３年５月１９日（水）～６月２１日（月）

講師　　鶴見大学短期大学部 保育科　教授　天野 珠路氏

【内 容】

～災害時における、危機管理意識を高める園の防災対策を考える～

火災・地震などの災害の発生に備え、緊急時の対応について具体的な内容を学ぶ

【受講者の感想】

＊ 研修で学んだことを保育にどう活かしていきますか○

地球温暖化による世界や日本での自然災害

・地震や風水害などの自然災害が増えていることを再認識した。東日本大震災で保育園関係者の避難が速く、被害が少なかった理由として日ごろの避難訓練の積み重ねであったと知った。今後は、自治体のハザードマップや防災マニュアル等を見て、地域の地形や特性を熟知していくよう努める。また、ストップウォッチや地域の地図を持って避難経路を回り、避難時間を予測するなどしてしっかり備えていきたい。

○ 避難訓練計画の見直しと職員との共有

・施設、設備の安全を確保し、災害が起こった際に備品や重要書類をどのように扱うか、職員としっかり話し合い、確実に実行する必要性を痛感した。

・子どもが安全について理解し、自らの身を守るために必要な行動がとれるよう日頃の保育内容を工夫していきたい。

・園における防災力を高めるため、日ごろから子どもを安全に避難させる行動や役割分担を職員と共有していく。訓練を形骸化させないよう、状況にあった避難をするなど、定期的に避難訓練を行っていきたい。

・散歩、土曜保育、延長保育等、通常と異なる状況を想定した訓練を計画する。また、食物アレルギーや発達支援等、配慮の必要な子どもへの対応についても再確認してきたいと思う。

○ 保護者・地域との連携の重要性

・地域における保育園の役割を自覚することができた。職員間の連携はもちろんのこと、家庭や地域との連携が大切であると学んだ。保護者と密接な連携に努め、必要な協力や理解が得られるよう努めたい。

・地域の関係機関の協力を得ながら、訓練を行うことの重要性を理解できた。

＊　ご意見・ご感想

・保育所保育指針 第３章の４ 災害への備えを再度読み返し、災害対策の位置づけを再確認できた。

・オンデマンド研修で動画視聴をしたが、大切だと思ったところを繰り返し視聴できて有意義研修であった。

２０２１年度　　足立区　保育研修報告　　VOL. 7

幼児教育研修（ＳＩＤＳ）　　受講者数　１１１名

日時　令和３年６月１６日（水）　１４：３０～１７：００

場所　足立区役所　中央館２階庁舎ホール

講師　ＮＰＯ法人　ＳＩＤＳ家族の会　　東京地区ビフレンダー　氏家　千鶴氏

国立研究開発法人　国立成育医療研究センター総合診療部統括部長　　医師　　窪田　満氏

【内　容】

～園児の午睡中の安全衛生・事故防止と職員の意識向上～

体験談をビフレンダー（*）から聞くことでＳＩＤＳを身近なこととして受け止めるとともに、ＳＩＤＳの正しい知識を専門医から学ぶ。

（注*）ビフレンダーとは、赤ちゃんを亡くした人や家族の友達となって、回復の過程を助けていく人のこと。

講師　氏家　千鶴先生

講師　窪田　満先生

【受講者の感想】

＊ 研修で学んだことを保育にどう活かしていきますか

・赤ちゃんを亡くした方の気持ちを知ることで、命の重さを再確認することができた。私たち保育者が今すべきことは幼い子を受け入れる際の配慮や午睡中のＳＩＤＳを防ぐことだと思った。午睡中も子どもの少しの変化にすぐ気づけるような体制をつくることだと感じた。

・命の重さ、尊さ、大切さを考える機会となった。命を預かっているという意識をしっかりもって保育にあたりたい。午睡チェックにマンパワーがいくように、仕事の進め方を今一度見直していきたいと思った。

・体の向きを直すことで子どもを起こしてしまうのではないかという躊躇より、命のリスクを下げることを優先すべきだと学んだ。大切な命を守るためにリスクを下げる行動をしっかり行っていこうと思った。

・午睡中の注意点を意識できるように、各クラスのチェック表に“うつぶせ寝や横向きを上向きに直す”などポイントや観察方法を添付してすぐ実行に移したい。

・ＳＩＤＳを予防するために、午睡チェックがどれほど重要かということを感じた。学んだことを園職員で共有して意識向上を図りたい。

＊　ご意見・ご感想

・ＳＩＤＳの現状や統計的な数値を知ることで、より深く理解でき日ごろの保育の再確認ができた。

・医療的な裏付けを学ぶことで、自信をもって対応できる。